

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-63	14-109	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol consumption and prevalence of human papillomavirus (HPV) infection among US men in the HPV in Men (HIM) study. アメリカにおける飲酒とヒト・パピローマウイルス感染について：男性 HPV(HIM)研究より		
執筆者		
Schabath MB, Thompson ZJ, Egan KM, Torres BN, Nguyen A, Papenfuss MR, Abrahamsen ME, Giuliano AR.		
掲載誌		
Sex Transm Infect. 2015 Feb;91(1):61-7. doi: 10.1136/sextrans-2013-051422.		
キーワード		PMID
ヒト・パピローマウイルス (HPV)、HIM 研究、男性		25278617
要 旨		
目的： 飲酒はウイルス感染に対する宿主の防御機能を傷害しうる。この横断研究の目的は、飲酒とヒト・パピローマウイルス (HPV)感染の予防との関連を、男性 HPV(HIM)研究に参加したアメリカ人男性で評価することである。		
方法： HIM 研究は HPV 感染の自然経過を調べる多人種の前向き研究である。今回の報告では、解析対象者をアメリカ人男性に絞った(N = 1,313)。被験者の亀頭冠、陰茎、陰囊からのサンプルを混ぜて HPV の DNA テストを行った。自記式の食物摂取頻度調査(FFQ)アンケートの飲酒量より一日あたりの飲酒量(g)に定量化し、飲酒量別の 4 分位で解析を行った。Multivariable prevalence ratios (mPRs : 多変数普及率)を用い、飲酒と HPV 感染の関連を調べた。		
結果： 飲酒量が最も多い群で HPV 感染率は有意に高かった。さらに、多変量調整モデルでは飲酒量が最も多い群で、すべてのタイプの HPV の感染リスク (mPR = 1.13; 95%信頼区間 1.00~1.27)、発がん性があるタイプの HPV の感染リスク(mPR = 1.35; 95%信頼区間 1.08~1.68)が有意に高いことが明らかになった。飲酒量が最も多い群では、性交渉相手の人数カテゴリによらず、非喫煙者、喫煙者であっても、HPV 感染のリスクは上昇していたが、禁煙者においてはこの関連は見られなかった。		
結論： こうした結果より、男性において、大量飲酒は HPV 感染リスクの増加と関連していることが示された。性器 HPV 感染におけるアルコールの生物学的役割はまだ研究中であり、特に男性において疫学データは極めて限られている。		